



アマチュアキックボクシング W18 後楽園ホール杯大阪予選

大会名アマチュアキックボクシング W18
後楽園ホール杯大阪予選
日時 2026年5月17日(日)

受付開始9時スタート【予定】

試合開始9時30分【予定】

※試合場はリングです

会場 〒590-0829

大阪府堺市堺区東湊町 2 丁目119-4
旧湊小学校体育館

主催 AJKN アマチュアキックボクシング W 実行委員会

※未成年者は必ず保護者と責任者の承諾を得てお申し込みください。

※怪我などの保険は各ジム対応で宜しくお願い致します。

参加費 アマチュア W6,000 円
後楽園ホール杯予選 8,000 円

※ダブルエントリーも可

申込期間 4月17日(金)必着

【申し込み方法】

出場申込書に必要事項を記入、捺印

参加費を同封の上、現金書留で下記までお送りください。

出場申込書に必要事項を記入し連絡ください。

【送り先】AJKN アマチュアキックボクシング W 実行委員会
〒591-8034

大阪府堺市北区百舌鳥陵南町3-13 乾ビル5F

※一旦納入された参加費は返金致しません、ただし対戦条件が合わず試合が組まれなかったとき、当日対戦相手が欠場して試合が行われなかったとき参加費は全額返金致します。

【AJKN 王者防衛戦 王者決定トーナメント 王者決定戦】

※王者挑戦トーナメント、防衛戦 決定戦 予定

申込書に挑戦希望にチェックし実行委員会で選考します。

。

クラス階級について

◇クラスについて

- A クラス B クラス3勝以上
- B クラス C クラス3勝以上
- C クラス3勝以下
- D クラス未勝利・初試合

◇一般(高校1年～大人)

●試合時間

- A クラス B クラス1分30秒×2R
(タイトルマッチは2分2R延長1R)
- C クラス D クラス1分×2R

●階級

- 53kg -55kg -58kg -60kg -63kg -65kg -70kg
- 73kg -75kg -78kg -80kg以上

◇ジュニアクラス(中学生まで)

※小学生まで男女混合 中学生から男女別

●試合時間

- A クラス B クラス1分30秒×2R
(タイトルマッチは2分2R延長1R)
- C クラス D クラス1分×2R

●階級

- 20kg -23kg -25kg -28kg -30kg -33kg -35kg
- 38kg -40kg -43kg -45kg -48kg -50kg -53kg
- 55kg -58kg -60kg -63kg -65kg以上

◇一般女子(高校1年～大人)

●試合時間

- A クラス B クラス1分30秒×2R
(タイトルマッチは2分2R延長1R)
- C クラス D クラス1分×2R

●階級

- 43kg -45kg -48kg -50kg -53kg -55kg -58kg
- 60kg以上

AJKN アマチュアキックボクシング W

キックルールについて

1)試合時間について

・ワンマッチ ・トーナメント

A クラス B クラス1分30秒×2R(タイトルマッチは2分) C クラス D クラス1分×2R

試合のインターバルは45秒とします。

2)使用グローブと防具の装着について

試合で使用するグローブは主催者が用意したものを使用します。※グローブ係が見て自前のグローブでも可

グローブの大きさは一般は全階級14オンスとします。

ジュニアクラスは-50kg以下8オンス 53kgより14オンスとします。

・装着が必要な防具

主催者が用意するもの

一応の貸出ボクシンググローブ有(事前にご連絡ください。)

各自が用意するもの

ヘッドギアは各自ご用意ください

※小学生Cクラスの方は安全のためヘッドギアはキャッチャー面をお願い致します。

ファールカップ、膝サポーターマウスピース、バンテージ、レガース

※一般は全クラスオーソドックスヘッドギア

※ヘッドギアはご自分のヘッドギアの着用。

3)服装について

・Tシャツ・キックパンツは無地でなくても良い。

・ジムや道場名、スポンサー名の入ったものは使用可とします。

・Tシャツはキックパンツの中に必ず入れる事。

4)勝敗について

・2ノックダウン制(ダウンカウントはゴングには救われません。

・ダウンして5カウント以内に立ち上がりファイティングポーズがとれない場合は KO となります。

・セコンドからタオル投入レフェリー、ドクターによるストップ ・ジャッジ3名による判定

5)有効技について

パンチ(ストレート、フック、アッパー、バックハンドブロー)

キック(前蹴り、廻し蹴り、横蹴り、後ろ蹴り、後ろ廻し蹴り、内股への蹴り、飛び蹴り、つかみ、ひっかけからの瞬間的攻撃、顔面へのヒザ蹴り、同廻し回転蹴り、かかと落とし)

※顔面へのヒザ蹴りは禁止

6)反則技について

頭突き、ヒジ打ち、組んでからの攻撃、故意による金的攻撃、投げ技、関節技、目突き、噛みつき、倒れた相手や背後からの攻撃、試合着やロープをつかんでの攻撃、手足をつかむこと、ストップの合図後の

攻撃、攻防の流れを止めるクリンチや打ち合いをさける消極的な行為、

主催者又は相手選手に対して侮辱的あるいは攻撃的言動

7)膝蹴りにについて

一瞬の引っかけによる(両手、片手ワンアタック)膝蹴りは有効な技となります。(顔面膝禁止)

※但し、明らかに頭を下げる行為、腰から下まで下げるなどその際の当たってしまった

顔面膝(故意ではない)は有効

「一瞬」の定義ですが、掴み続けることはホールディングとなり反則になります。

あくまでも攻撃するために、継続しない瞬時の引っかけのみ有効とします。また「引っかけ」の定義で

すが、両手及び片手で相手の首を抱え込んでの攻撃や、首相撲は反則となります。

手首及び前腕部分(前腕部を使用する場合は巻き込まないこと)で、相手の首を瞬時に「引っかけ」る事のみ有効となります。

8)首相撲について ワンキャッチワンアタック

※クリンチ行為

即ブレイク 反則対象となります。

9)その他

選手、セコンド一丸となって 3 試合前までに試合の用意をしてください。

マウスピース・ファールカップを必ずご用意ください！

後楽園ホール杯 キックルールについて



1) グローブについて

各階級のグローブの重さは原則として下記の通りとする。

・小学校低学年クラス	12 オンス
・小学校高学年クラス	12 オンス
・中学校クラス	12オンス
・女性 高校生～一般女性クラス	12 オンス

2) 年齢別クラス

年齢別クラスは下記の通りである。

- ・小学校低学年男女別クラス(小学 3 年生、4 年生)※各代表が認めれば小学 1 年生、2 年生も参加も可能
- ・小学校高学年クラス(小学 5 年生、6 年生)
- ・中学校クラス(中学 1 年生、2 年生、3 年生)
- ・女性 高校生～一般クラス(高校生～)

3) クラスと試合時間について

クラス別の試合時間、インターバルは下記の通りである。

- (1) 小学校低学年クラス男性・女性共通(小学 3 年生・4 年生)

)※各代表が認めれば小学 1 年生・2 年生の参加も可能

体重・-22kg・-25kg・-28kg・-31kg・-34kg・+34kg 以上 全 6 階級

試合時間 1 分×2R(インターバル 30 秒)

使用グローブ 12 オンス

- (2) 小学校高学年クラス男性・女性共通(小学 5 年生・6 年生)

体重・-28kg・-31kg・-34kg・-37kg・-40kg・-45kg・+45kg 以上 全 7 階級

試合時間 1 分 30 秒×2R(インターバル 30 秒)

使用グローブ 12 オンス

- (3) 男性中学生クラス(中学 1 年生～3 年生)全 10 階級

体重・-34kg・-37kg・-40kg・-43kg・-46kg・-49kg・-52kg・-55kg・-58kg・+58kg

試合時間 1 分 30 秒×2R(インターバル 30 秒)

使用グローブ 12 オンス

- (4) 女性 中学生クラス(中学 1 年生～3 年生)

体重・-34kg・-37kg・-40kg・-43kg・-46kg・-49kg・-52kg・-55kg・+55kg 全 9 階級

試合時間 1 分 30 秒×2R(インターバル 30 秒)

使用グローブ 12 オンス

- (5) 女性 高校生～一般クラス ※プロ戦績 2 勝以下

体重・-43kg・-46kg・-49kg・-52kg・-55kg・-58kg・+58kg 全 7 階級

試合時間 1 分 30 秒×2R(インターバル 30 秒)

使用グローブ 12 オンス

※準決勝、決勝は 2R にて行う。他は 1R にて試合を行う。

実行委員会にて試合ラウンド、試合時間などの変更を行う場合がある。

4) 試合の判定について

試合の判定は以下の通りとする。

- (1) 判定勝ち

- (2) KO 勝ち

- (3) TKO(テクニカルノックアウト) 勝ち

- (4) 引き分け

- (5) 失格勝ち

- (6) 無効試合

- (7) 不戦勝

負傷判定

- (1) 偶然のバッティングや偶然のアクシデントにより試合続行が不可能となった場合

は、ストップとなったラウンドを含んだ採点により勝敗を決する。

- (2) 採点が同点であった場合(公式記録は引き分け) 準決勝における負傷引き分けは、負傷して

いない選手が決勝に進む。

5)採点方法

1 採点は下記の基準に基づいて行う

- (1) 有効打
- (2) アグレッシブ
- (3) 攻撃 防御の技術
- (4) リングジェネラルシップ

2 採点は原則としてテンポイントマストシステム（10 点法）で行う。

(1) 各ラウンドとも、勝者は 10 点を得、対戦相手は、9, 8, 7 点といったポイントとなる。同点の場合は 10 対 10 となる。

(2) 勝者は、10 ポイントで敗者は 9 ポイントになる。明らかに一方が優勢であった場合は、敗者は 8 ポイントとなる。

(3) ラウンド中どちらかが 1 回ダウンをとった場合、そのラウンドは、10 対 8 となる。

(4) ラウンド中レフェリーは、反則行為に対して 1 ポイント以上の減点を与えることができる。

6)反則について

次の各行為は反則となる。

- (1) ヒジ打ち、頭部による攻撃
- (2) 下腹部、後頭部への攻撃
- (3) ヒザによる顔面への攻撃
- (4) バックハンドブローによる攻撃
- (5) 投げ、サバ折り、相手選手の腕をロックする、柔道やレスリングの技を使用する
- (6) 倒れた相手への攻撃
- (7) 噛みつく、目を突く、相手選手に唾を吐く、また相手選手を挑発する行為
- (8) 攻撃の意思のないクリンチ（首相撲は 5 秒以内は許される）
- (9) ロープをつかむ、ロープの反動を利用する行為

(10) 相手選手に背を向ける行為、故意にリング外に出ること

(11) レフェリーの指示に従わないこと

(12) セCONDがレフェリーにクレームを入れるなどの行為

反則行為を犯した選手、セCONDはレフェリーの判断により注意、警告を受け、又は失格になる。

レフェリーは適当な時に注意を与え、警告をする場合は、一度試合を止め、反則の内容を明示して

選手と各ジャッジに減点を報告。同一の種類反則が 3 度になった時レフェリーは警告を与える。

3 度警告を与えられた選手は自動的に失格となる。

7) ノックダウンについて

1. 次の状態にあるときはノックダウンとみなす

- (1) 有効打を受け、足の裏以外の身体の一部がリングに触れた場合
- (2) 有効打を受け、ロープにもたれかかった時
- (3) 有効打を受け、ロープの外に身体が出た時
- (4) 有効打を受け、リングの外に身体が出た時

2. カウント

(1) ダウンがあった時レフェリーはカウントを行う。選手がダウンして 1 秒おいてカウントが開始され 5（ファイブ）カウントで KO となる。

(2) ダウンを受けた選手がファイブカウント以内に立ち上がった場合でもレフェリーはカウントを続けなければならない。

(3) スタンディングカウントは許される。

(4) 両選手が同時にダウンした場合、どちらか一方がダウンしている間はカウントは続けられる。

5 カウント後も両選手がダウンの状態の場合は試合終了、これまでの採点により勝者が決定する。

(5) インターバル（休憩時間）後すぐに試合を開始できない選手は失格負けとなる

※後楽園ホール杯予選に限り当日計量・体重リミット体重のオーバーなし